

The KH i-Lab Times

KH i-Labタイムズの連載第2回目です。さて、本年度の新入社員も入り更に活動の幅に広がり期待されるイノベーション戦略室(イノベ室)ですが、今号からKH i-Labタイムズの担当記者も増えまして、これからの記事の広がり期待しつつ、皆さんに何かきっかけを残すページにしていきたいと思います。

いま改めて問いかける 化学って何だっけ？

KHネオケム株式会社の業種は言わずもがなの「化学」です。そして当社の使命は「化学の力」でよりよい明日を実現すること。ここでイノベ室では考えます。「化学の力」とは何だろうか、そもそも「化学」の定義って何だろうか。

「化学」を辞書で調べると、どの辞書でも化学反応を扱う自然科学の一分野というような説明が載っていると思います。筆者はモノを司るのが化学、コトを司るのが物理、命を司るのが生物、真理を司るのが数学という漠然としたイメージを持っていました。そのため、新規事業としては新しいモノを世の中に提供するようなビジネスを化学企業として目指そ



うとしています。ですが、「chemistry」を英和辞典や英英辞典で調べると、「人と人の相性」という意味が載っているのです。2つの異種なものを結びつけるのも「化学」なのかもしれないと考えるようになりました。今、イノベ室では健康×化学×食とか、インフラ×化学×安全というような思考でも新規事業を検討しています。皆さんにとって「化学」とは何ですか？

ゲームはビジネスに役に立つ？

ゲーミフィケーションという言葉をご存知でしょうか？端的に言いますと、「ゲーム以外にゲームの要素を取り入れる」ということ。VRで再現した機器で操作方法を習得したり、クイズ形式で歴史の勉強をしたりする例が挙げられますが、最近ではビジネスの基本をボードゲームを通じて学ぶという研修まであります。ゲーマーの筆者としてはぜひこの研修を受けてみたいところです。

トレーナーとトレイニー

本年度の新入社員や異動者が配属され、その教育係に指名された方々が皆さんの部署にもいらっしゃることでしょ。教育係につきもののいろいろな不安が沸き上がるころではないでしょうか。しかし、人に何かを教えることはものすごく教える側にためになるのです。もちろんなかなかしんどいことではありますが。情けだけでなく教育も人のためならず。この機会に自分もレベルアップしてしましましょう。

KH i-Lab News

イノベティブルームのレイアウトを変更しました！私たちの感情は環境に大きく影響を受けます。代表的なものが、話す相手との距離です。近いほうが親密に話やすく、遠いと話づらくなり、社交的な会話になりがちです。そこで、イノベ室では、机の配置コの字型へ変更しました。室員同士の距離が近づき、お互いの顔が見えやすくすることで、活発な議論を促進し、新事業のアイデアを創出します。



イノベの書棚から

日本人のための漢字入門
阿辻 哲次著(2020)、講談社



日本経済新聞の「遊遊漢字学」でお馴染みの阿辻氏の最新著書。「令和」の「令」と「令」はどちらが正しいか？戸籍法施行後は「亮」「哉」「圭」「奈」「宏」「綾」などが使えなかった歴史など、活版印刷屋に生まれた著者ならではの、身近に感じる漢字の秘密が盛りだくさんです。「邁進」のシンニョウの点の数異なるなど、今もなお、戦後の漢字施策の混乱の中で、今後の日本語を見つめなおす意味でもおすすめの本です。

おしえてイノベ室

初期段階のスタートアップを飛躍的に成長させるための支援策として、次のようなものが知られています。

インキュベーター：主に起業前～シード段階を対象とし、数年以上(期限なし)長期的に支援。

アクセラレーター：主にアーリー段階を対象とし、数ヶ月程度短期集中的に支援。

イノベ室は、川崎市のアクセラレータープログラム「Kawasaki Deep Tech Accelerator」にサポーター企業として加入し、協創を目指しています。